



スーパーで買い物をした参加者

# —— 買い物弱者支援 —— 法人所有車を無償提供

## 社協や地域が協力

### 愛知県

愛知県稲沢市で、地域の社会福祉法人と社会福祉協議会、地域住民が協力して始まった買い物弱者支援対策が好評だ。

社会福祉法人亀泉会（きせん）は、「買い物物の移動に不便を感じている」との意見が多く集まった。スーパーマーケットまで送迎する。移動手段の車と、支援する人員は亀泉会が「社会福祉法人の地域における公益的な取り組み」の環境で無償提供している。

買い物弱者支援対策が始まったのは、稲沢市の平和地区。町の中

心からやや離れた地域で、高齢者が増加傾向にあるという。地域の困りごとや地域の課題を、地域住民が話し合う場として「生活支援体制整備推進協議会」が立ち上がったのがきっかけだ。

協議会の話し合いでは、「買い物物の移動に不便を感じている」との意見が多く集まった。そこで、稲沢市社協と亀泉会、地域のふれあいサロンが協力して、買い物支援モデル事業「にこにこせせん買い物支援事業」を昨年9月から始めることとなった。

月に1回、申し込みのあった5〜6人を集め、会場からスーパーマーケットに送迎している。参加者からは「約15年ぶりに買い物に行けて楽しかった」「免許返納を迷っていたが、このような仕組みがあれば安心だ」と好評だ。

稲沢市社協は、今後も地域住民をはじめ、社会福祉法人や企業などに地域づくりへの参加を呼び掛け、「地域の力」で支え合いの仕組みをつくっていく方針。

（濱本高佑）